

佐賀建設新聞

発行所

株式会社 建設新聞社

〒849-0301

小城市牛津町乙柳1145-7

☎ (0952) 66-5750(代)

Fax (0952) 66-5751

購読料 月額 5,775円(税込)

法人 日本専門新聞協会会員

■ ホームページ ■

http://www.kensetsunews.co.jp

技術研修会を開催

緑化施工現場など見学

県治山林道協会

県治山林道協会は去る29日、唐津市内で森林土木技術研修会を開いた。県や市町の職員、建設会社の技術者約100人が参加し、緑化工法の施工現場などを見学した(写真)。

現地研修に先立ち、同市北波多の日本建設技術(株)本社工場でミラクルソルの製造を見学。参加者は手にしたミラクルソルの軽量性に驚いていた。その後、北波多公民館大ホールに移動。同社の原裕社長が講師を務め、ガラス廃材を再資源化したミラクルソルの特徴、それを応用した水質浄化や環境緑化、軽量盛土などのさまざまな工法について説明が行われた。参加者はこの後、ミラ

クルソルを水質浄化システムに取り入れた北波多浄水場、ミラクルソル工法が採用された市道北波多帆柱線の施工現場を見学。北波多浄水場の説明を担当した同社技術研究所の田中健太主任は、水道原水の前処理にミラクルソルを用いることで、河川水に含まれる汚濁物質や大腸菌などを有効的に除去できることを紹介した。

市道北波多帆柱線の施工現場では、ミラクルソル工法の一つであるミラクルボードソイルストップ(MBSS)工法を同社建設事業部の下平徳正課長が説明。MBSS工法は、吸水・保水性の高いミラクルソルを埋設した板状のセメントボードを法面に設置するもので、保水性の高いミラクルソルが植物の活着と生育を助長する。下平課長は、モルタル吹き付け斜面や岩盤斜面の緑化に効果的な工法だと強調した。

